

2015年7月30日（木）

和光保育園視察研修の感想

担任名：北野勇

和光保育園、視察研修の感想

子どもの育ちに必要なこと、特に生活水準も高く安定している日本では、優先順位は多様になっている、見学させていただいた和光保育園では、固形せっけんの香りが似合うような、人の暮らしになつかしさを感じた、つまり、床と長机で暮らす最低限の衣食住で心身ともに健やかに、園生活する子どもたちの姿があった。

私自身が特に印象に残ったことは、子どもたちが動きながら学んでいる姿です、床の雑巾がけをする姿にも、濡らすこと、しぼること、拭くこと、足裏に伝わる振動、美しくきれいになること、五感で感じるという言葉は簡単に言えるが、より深い子どもの心身の動きが「子どもを本物にしている」と言うか、本物の子どもらしさを育てているんだなと思いました。

大人視点の下手な言葉がけより、失敗の中に学びがたくさんある事を保育者として意識されていて、家庭的なあたたかい雰囲気の中にもありのままの子どもを見つめる保育理念を大事にしているのが素晴らしいと思いました。

「安心と信頼」子どもを信頼した関わり、家族のように愛情や敬意を持って関わる大事さを学べたことは、今後の私にとって重要なことになりそうです。保護者の方や園児にとって貴重な保育日数の中、休園して研修に行かせてもらったことに感謝いたします。ありがとうございました